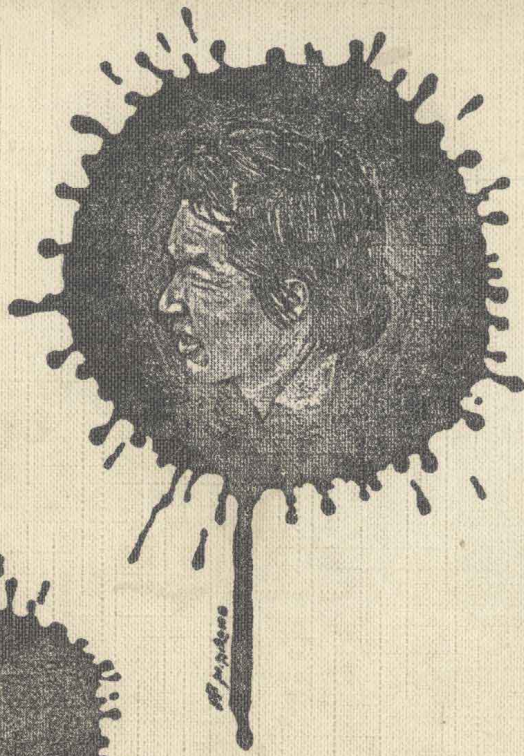


戦争を知らない子供たち



深夜放送・大学・歌・旅をとおして求めつづけた青春



北山修 (きたやま・おさむ)

昭和21年6月19日、兵庫県淡路島に生まれる。1965年からファーク・ソングを志し、フォークルセダーズを結成、67年冬私家版でつくったレコード「帰って来たヨッパライ」を大ヒットさせ、マスコミにデビュー。グループ解散後、数多くの歌を書き、代表作に「風」「花嫁」がある。現在、京都府立医科大学5年生に在学中で「心の病氣」を扱う精神医学に関心を持ち、一方では、深夜放送をつうじて若者どうしの対話の可能性を追求中である。

著書に「くたばれ芸能野郎」(自由国民社)がある。

戦争を知らない子供たち

昭和46年3月1日第一刷発行
昭和46年11月10日第五十九刷発行

著者 北山 修

発行者 藤岡吉只

発行所 株式会社 ブロンズ社

東京都新宿区諏訪町二二七両全ビル
振替東京七二〇八一番
電話 二〇九一二四七番(代)

定価 四五〇円

印刷 信毎書籍印刷 東京巧芸印刷(株)
製本 越後堂製本



戦争を知らない子供たち
ブロンズ社

こんな夢をみました

チキユウという国の中に

ニッポン・ベトナム・イスラエル・アメリカという県があり

テキサス・ヒョウゴケン・ホッカイドウと呼ばれる町と

トウキョウ・パリ・ベキンという名の村がある

言葉は一つとなり

エイゴ・ドイツゴという方言が生れる

家の前をシンカンセンという市電が走ってゆく

どこへでも同じ値段の切手で手紙が書けるのです

そんな夢でした

風

人は誰もただ一人旅に出て

人は誰もふるさとを 振り返る

ちよつびりさみしくて 振り返っても

そこにはただ風が吹いているだけ

人は誰も 人生につまづいて

人は誰も 夢やふれて振り返る

ブラタナスの枯葉舞う 冬の道で

ブラタナスの散る音に 振り返る

帰つておいでよと 振り返っても

そこにはただ風が吹いているだけ

人は誰も 恋をしたせつなさに

人は誰も 耐え切れずに振り返る

何かを求めて 振り返っても
そこにはただ 風が吹いているだけ
振り返らずただ一人一歩ずつ
振り返らず泣かないで歩くんだ



はじめに

知っていても知らないふりをするのが大人なら、私は知らないのに知ったかぶりをしたい。

まじめだが非良心的なのが大人なら、私はふまじめだが良心的でありたい。

常識を教えるのが大人なら、その常識を私は破りたい。

礼儀正しいのが大人なら、私は無礼でありたい。

私は昭和21年6月19日に生れた。純粹戦後派・戦無派と呼ばれるどうしようもない世代の一人である。大人たちが、どうわめこうと、〈戦争を知らない子供たち〉は明日の日本を台無しにするため、その果しない行進をつづける。

この本は、戦後史に位置づけられた私のたましいを見さだめるための〈自己認識〉と〈懐旧〉の記録である。目標は、これに陶醉することではなく、状況を把握し、これを越えるところにある。

明日からまた私は放浪の旅に出る。

新しい日本人による新しい日本をつくるために。

昭和四十六年一月 京都にて

北山
修

目次

目次

はじめに.....	9
ふろろうぐ	
死人のうた.....	17
若者のうた.....	19
思い出のうた.....	21
一億人のうた.....	24
憂国のうた.....	26
ビエロのうた.....	28
第一章 戦争を知らない子供たち.....	31
平和のつぶやき.....	34
楯の会とヨコの会.....	43
怠惰であること.....	50
ベビー・ブーム族.....	57
理解とは.....	64

第二章 花はどこへいったの	71
どろぼう	74
言　　葉	82
チンチン電車	91
K教授	98
〃死〃	105
初　　恋	110
なんのために歌うの	116
前　　進	122
ビエロ	127
若者は生きている	132
愛によって世界平和を	138
45年8月15日以後生まれの若者よ!!	143
明智小五郎と小林少年	148
隣席の人	153
ウーマン・リヴ	158
第三章 愛と性と青春	165
電話による対話1	167
これでも性教育は必要でないのか	177

電話による対話 2……………
 若者よ太陽の下へ走れ!!……………
 深夜放送における性論争……………
 —放送のためのメモランダム—

〔資料〕

- 1 男の人のみわけ方 198 2 先輩に教えてもらった本 200
 3 軽蔑したい 203 4 顔をみるのも嫌 204 5 楽しかった交
 際も—— 204 6 頭ではわかつているが—— 205 7 セックスを
 太陽のもとに 206 8 オカシイ性の常識 206 9 知ろうとす
 ることは悪いことか 207 10 愛の深さと性 210 11 性を日陰
 者にした張本人 211 12 私の母の場合 212 13 親しい彼にき
 く 213 14 男はみんなオオカミです 215 15 決意でなく自然
 だ 216 16 できるのでなくやりたいのだ 216 17 女にもオオ
 カミめいたところが 217 18 私のあやまち 217 19 自分なり
 のセックス観を 218 20 うばってほしい 221 21 特定の男性
 でなくとも 221 22 欲求のプロセス 222 23 自分の弱さ 223
 24 性欲旺盛な若者として 223 25 男と女の違い 224 26 ブラ
 トニック・ラブにあこがれる 227 27 性と純潔 228 28 性の
 壁を越えて 229 29 恵まれている私達 231 30 ちっぽけな
 性 232 31 正しい性教育などありえない 233 32 詩的
 なエロティズム 234 33 自らをかける性 235 34 PTAの一
 人として 235

195 189 179

第4章 純粹戰無派宣言	239
— 〇〇〇字のメッセージ —	
芸能人として	
東と西	243
ブーちゃん	245
化粧品	247
怒 劇	249
ローカル・サウンド	250
夜の貴公子	252
フォークシンガーの一人として	
イムジン河	254
オデッタ	256
医学生の一人として	
白衣の天使	259
友 人	261
百害あって一利あり	263
旅人の一人として	
ニューヨークの涙	265
スモッグ・リング	267